

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		交通安全施設等整備事業		路河川名等		国道406号	
事業毎の通番		4		市町村名		上田市	
事業目的		当路線は、上田市と須坂市を繋ぎかつ上信越自動車道と観光地である菅平高原を繋ぐ路線でもあります。当区間は、通学路として指定されており、且つ菅平高原の特性上1年を通し観光客が多く、歩道が未整備なため交通弱者にとって危険な状態となっています。本事業により、歩道を整備し通学する児童や観光客の安全を確保するため平成26年度より、交付金の新規事業として要望していきたい。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり		事業実施の根拠法令等		社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律	
関連する事業、計画等		通学路緊急合同点検					
保全対象・範囲 受益対象・範囲		菅平小学校通学者他 観光客 現況自動車交通量 2,077台/日					
着手年度		平成27年度		事業期間		5年間	
完成年度(見込み)		平成31年度		費用対効果		-	
全体事業内容(主な工種)		歩道設置工 L=900m W=2.5m		事業費(千円)		国庫 96,000 県債 57,600 一般財源 6,400	
年度事業内容(主な工種)		測量・設計 1式		事業費(千円)		20,000 12,000 7,200 800	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的) 利用者の安全確保、特に通学自道の交通事故の抑制が期待される。 間接的効果(定量的・定性的) 観光客の増加と安全確保 通行車両の交通事故抑制					
必要性		○現況自動車交通量 : 2,077台/日 ○現況自転車歩行者交通量 : 現況自転車歩行者交通量は0台・人/12hであるが、夏季、冬季に観光客が多い					評価 B
重要性		○関連計画、重点施策との整合 : 1つ整合(通学路緊急合同点検) 【位置付け】緊急輸送道路の路線指定:C:市町村緊急輸送道路に路線指定されている					評価 B
効率性		○事業期間 : 5年間(H27~H31)					評価 C
緊急性		○近年の交通事故件数:C : 事故なし ○通学路対策 : H24緊急合同点検を踏まえた対策箇所(上田市立菅平小学校) ○現況の歩道幅員: 歩道なし					評価 B
計画熟度		○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(H26.6月上田市へ事業説明) ○地域の取り組み : 積極的な取り組みがある(上田市を通して地元区からも要望あり) ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている ○住民との協働 : 住民関与が低い事業					評価 B
部意見		通学路でもあり、観光地が隣接しており、安全な歩行空間の確保のため、歩道の整備が必要である。		行政改革課意見		須坂市と上田市を結ぶ幹線道路であることから必要性は認められる。	
				評価結果		総合評価 ○ B	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)			
事業概要説明図表			
①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景		当箇所は、小中学校の通学路であり、また夏は大学ラグビーの合宿・冬はスキーと1年を通して観光客も多く歩道が無いため車道にはみ出ている、夏は高原野菜の出荷時期と重なり、農耕車や大型貨物車も多くまた、冬期間は除雪により路肩が通れないため危険度が上がる。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり		国道406号整備促進期成同盟会が結成されており要望がでている。また、地元区からも上田市を經由し要望が出されている。	
③事業説明等の経緯		未実施	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連		特になし	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮		構造物ではなく、土羽構造による緑化を図り環境へ配慮。また極力、現道を利用するルートを検討したい。	
⑥地域活性化への影響と配慮		市役所と連携し、住民の意見を聞きながら計画策定していきたい。	
⑦その他		特になし	
		事業代表地点の緯度経度	
		北緯:N 36.32.08 東経:E 138.20.29	